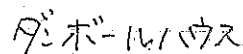
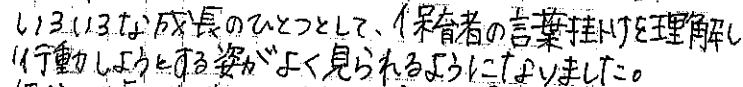


新しい1年を迎えることができてきました。コロナが
大流行した年末でしたが、元気な姿で登園
してきた子どもたちを見て安心しました。
今またインフルエンザが猛威を振るっています。
先日は大寒波の影響で大雪も降りました。しっかり
食べて早寝、早起きの規則正しい生活を心がけ、
強い身体づくりをしていきたいですね。



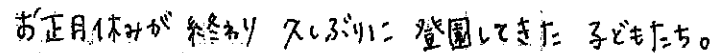
しいの実ぐみ

ドアからひょこっと顔を覗かせて、中から手だけが見えたかと思えば内側からパターンと自分でドアを片める姿がとて可愛いです。今ではダンボールを横にして出入口のところに、入って座り、周りを太鼓のように叩いたりと楽しい遊び方も見られ、楽しいおもちゃのひとつになっています。



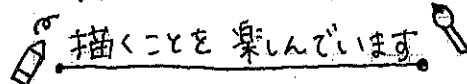
例えば、「お散歩に行こうね」と言うとき昌子と取りに行ったり
あちと指差したり。「ご飯食べようか」と言うとき気持ち
切り替わり椅子に座りに行ったり、「おち付けしょうか」と
言うときおもちゃを箱に運んで入れたりと様々な場面で
見られます。くこうしたいくくせりたかったという思いから
涙が出ることもあります。表情や声などを見てその思いを
しっかり受け止め、お話しするようにしています。

いしづ言葉も出てきている多とちもいるため、これから
成長も更に楽しみです。何事にも一生懸命な姿は
とても可愛いですね。そんな姿をお家の方ともしんごん
お話しできればいいなと思っています。

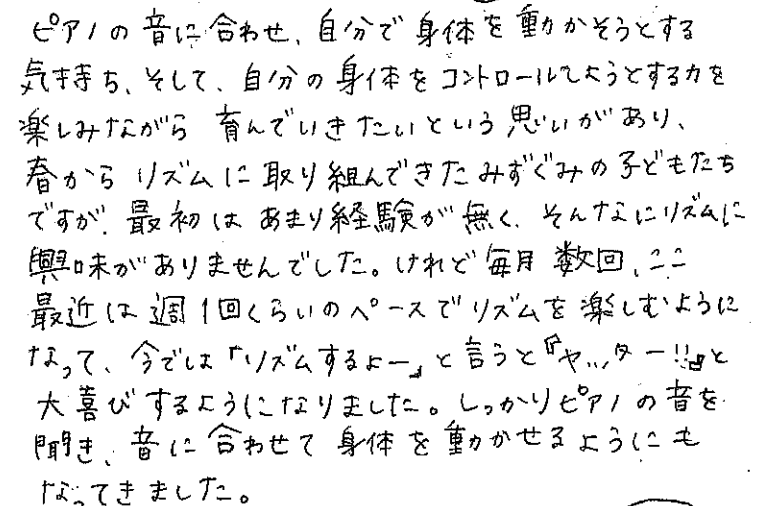


どんな表情で保育園に来てくれるのか、保育者もドキドキしていました。が笑顔で保育室に入ってくる子ども、お家の方に抱っこされ少し照れている子ども、少し不安な表情をしている子ども、色々な姿を見せていました。しかし、「絵本 見ようかー!」「牛乳 飲んで いっぱい あとほうかー!」などの声掛けで「ハイ 四」とすっかりいつも通り子どもたちにとって保育園が安心の場所になってきているのかなと感じます。

寒い季節ではありますが、戸外で冬の澄んだ空気を肌で感じ、身体を重くし、元気に遊んでいます。普々歩笑でのちょっとした段差からジャンプする、金鉄棒にぶらさがる、でこぼこの道を走るなど、何気ない遊びや重くしが、体幹を強くし、しなやかな身体づくりが必要になってきます。子どもたちの遊びに目を向け、やりたいことを一緒に、英感しながら「出来た！」とたくさん感じて谷川園生園生。



いつも活動する前には集まって“今日何をするか!”と子どもたちに伝えているのですが「今日はお糸会を描きます!」と言うと「やったあ」と言わんばかりに喜んでいきます。「ピンクにする!」「早くやりたーい!」と机の近くの机の前には行列が出来てしまっています。ペンやクレパス糸会の具を使って筆で描くなど初めて使う画材にもみんな興味を示し上下左右に腕を重くします。また友だちと描くことを楽しみ「同じ色やなー!」と顔を見合わせニコニコしたり、トントン点を描く友だちを見て「僕も(私も)」と真似たりして“楽しい”を共有しています。進級・入園してきた時に描いた作品と見比べてみると筆圧も濃くなり紙に描くという手の重さをコントロールする力も少しずつ育っています。一人ひとりの個性やのびのびと表現出来るように関わりたいと思います。



少し前から“2人組”のリズムをずるようになり、保育者が“ふたりぐみ!!”と言うと。

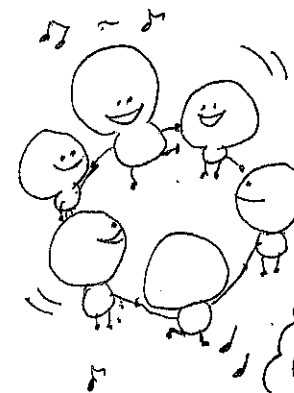
お友だちを言番、て
ヘアになります。

なかなかお友だちを

言いたいに行けなかつたり、どうしていいかわからない...
とい、た姿があったりしましたが、何度モ回数も
重ねていくうちに 2人組を作るのも早くなつて
きました。1回のリズムでヘアを替え、何回も
2人組のリズムを楽しみますが、どの子ともとても
大笑いしながら楽しんでいきます。

保育(泉)で生活していく中で大セカにしたい『集(寸
づくり』の1番小さな単位である“2人”から
『一糸者になると楽しい!!』経験を重ねて
いきたいと、思っています。そして、1人1人の姿を

意識なし、身体を動かせる
リズムを子どもたちの生活の
一部として、いつでもすぐに
楽しめるものにしていきたい
と思っています。



＊おねがい＊
持ち物の名前が消えている
物があるので、石霍言忍をお借り
します。